

まちづくり月間関連四行事受賞者等について

- (1) まち交大賞
- (2) まちづくり標語懸賞募集
- (3) 住まいのまちなみコンクール
- (4) まちの活性化・都市デザイン競技

第4回まち交大賞

1. まち交大賞について

まち交大賞は、都市再生整備計画において①まちづくりを推進するための優れたテーマの設定、②提案事業を活用した画期的なまちづくりのアイデア、③住民の意向の反映や参加の誘導などの計画策定のプロセスの3つの観点から、優良な計画が策定された地区を対象として表彰し、関係者の栄誉をたたえるとともに、受賞地区の事例を全国に幅広く紹介することで、今後まちづくり交付金を活用したまちづくりが一層推進することを目的として実施するものです。

2. 主催・後援

主催：まちづくり交付金情報交流協議会 ・ (財)都市みらい推進機構
後援：国土交通省

3. 事業実施経緯

各地方整備局等における代表地区の選出を行う地方大会を実施し、地方大会の代表地区から全国の大賞受賞地区を選定する全国大会を実施する。

- 【候補地区】平成16、17、18、19、20年度まちづくり交付金採択地区（第1回、第2回、第3回まち交大賞受賞地区及び完了地区は除く）
- 【地方大会】（募集）平成20年11月～
（地方予選会）平成21年1月～平成21年3月
- 【全国大会】（全国審査委員会）平成21年3月30日
（全国大会表彰）平成21年6月（まちづくり月間期間内）等

4. 審査委員

委員長	高橋 洋二	日本大学総合科学研究所教授
委員	浅田 義久	日本大学経済学部教授
	今井 晴彦	(株)アルメック技術顧問
	西郷真理子	(株)まちづくりカンパニー・シーブネットワーク代表取締役
	清水喜代志	国土交通省都市・地域整備局まちづくり推進課都市総合事業推進室長
	伊藤 明子	国土交通省住宅局市街地建築課市街地住宅整備室長
	梅岡伸一郎	まちづくり交付金情報交流協議会企画運営委員会委員長
	佐々木 健	(財)都市みらい推進機構専務理事

第4回まち交大賞 審査結果

【総合賞】

賞	地区名	受賞者	地方大会
計画大賞 (国土交通大臣賞)	熊本市都心部地区	熊本県熊本市	九州
創意工夫大賞 (まちづくり交付金情報 交流協議会会長賞)	勝沼ぶどうとワインの里地区	山梨県甲州市	関東
創意工夫大賞 (都市みらい推進機構 理事長賞)	高山本線沿線地区	富山県富山市	北陸

【部門賞】

賞	地区名	受賞者	地方大会
テーマ賞	脇町中心地区	徳島県美馬市	四国
	広兼金口地区	広島県東広島市	中国
	浜田駅周辺地区	島根県浜田市	中国
アイデア賞	鹿児島市都心部地区	鹿児島県鹿児島市	九州
	栄本町地区	大阪府池田市	近畿
	とよかわイナリズム地区	愛知県豊川市	中部
プロセス賞	口銀谷地区	兵庫県朝来市	近畿
	三保羽衣・折戸地区	静岡県静岡市	中部
	岩見沢駅周辺地区	北海道岩見沢市	北海道

第26回 まちづくり標語懸賞募集

1. まちづくり標語懸賞募集について

まちづくり標語懸賞募集は、まちの主人公である住民自身と自治体が共同しながら愛着と誇りのもてる「わがまち」をつくっていくための合言葉を募るもので、平成20年度は3,672通（一般の部 2,838通、児童・生徒の部834通）の応募がありました。

2. 第26回まちづくり標語募集の課題

「地球にやさしいまちづくり」

近年、地球温暖化、ヒートアイランド現象等の環境問題が深刻の度を増しています。京都議定書において、2008年から2012年までの期間中に、温室効果ガスの削減目標を達成することが求められていることから、その目標達成に向け、まちづくり分野においても、行政、地域の企業、住民等が協力し、地球環境問題に対応した、省CO₂、省エネルギーに対応したまちづくりを促進するため、「地球にやさしいまちづくり」をテーマに合い言葉を募集します。

3. 主催等

主 催 : まちづくり月間実行委員会

後 援 : 国 土 交 通 省

4. スケジュール

募 集 : 平成20年7月1日～平成20年12月31日

選 考 : 平成21年3月10日（火）

表 彰 : 平成21年6月（まちづくり月間期間内）

5. 審査委員

委員長 幸田 シャーミン（ジャーナリスト）

委 員 藤本 昌也 （建築家）

柳島 康治 （コピーライター）

石井 喜三郎 （国土交通大臣官房審議官（都市・地域整備局担当））

小川 富由 （国土交通大臣官房審議官（住宅局担当））

荻原 達朗 （（財）都市計画協会 専務理事）

【審査結果】

一般の部

賞	作 品	作者氏名	住 所
特 選	地球に優しさもらう町 地球に優しさ返す町	梅津 康治	山形県上山市
準特選	歩き・自転車・バス・電車 ゆっくり生きるエコの街	岩山 節子	静岡県富士市
入 選	残そうよ 原始のカケラ わがまちに	赤羽ヒデ子	東京都目黒区
	灯消し 星空楽しむ エコのまち	三坂 由枝	山口県岩国市
	やさしさを 人にも 町にも 地球にも	小野 良明	東京都中野区

児童・生徒の部

賞	作 品	作者氏名	住 所
特 選	CO ₂ 木をふやして げきたいだ	菊地 貴裕	神奈川県茅ヶ崎市
準特選	育もう あなたのエコの目 緑の目	能上 竣資	東京都杉並区
入 選	やさしさを 地球にあげよう まちづくり	田中 和真	岐阜県岐阜市
	まっさきに ”地球” をおもう まちづくり	井澤 紀隆	山形県村山市
	地球に やさしいことを しなくちゃね!!	石川 遙香	新潟県新潟市

第4回 住まいのまちなみコンクール

1. 住まいのまちなみコンクールについて

身近な住環境は地域の方々によって維持管理され、安全、清掃、緑化、まちなみなどが保たれています。このようなコミュニティ活動が活性化していることは喜ばしいことですが、一方では敷地の細分化による密集化の進行、緑の減少など環境の悪化も見受けられます。今後、ますます住民や住民組織による維持管理活動の進展が望まれています。このような状況を踏まえ、維持管理活動に実績を挙げている住民組織をまちづくりのモデルとして表彰し、支援するものです。

2. 主催・後援

[主 催] まちづくり月間実行委員会、(財)住宅生産振興財団

[後 援] 国土交通省、独立行政法人住宅金融支援機構、独立行政法人都市再生機構、(社)住宅生産団体連合会、(社)日本建築士会連合会、(社)日本建築士事務所協会連合会、(財)ハウジングアンドコミュニティ財団

3. 事業実施経緯

[応募期間] 平成20年7月1日～平成20年9月20日

[審 査] 第1回 平成20年10月6日 第2回 平成20年12月5日

[審査委員]

委員長	藤本 昌也	(建築家/社団法人日本建築士会連合会会長)
委員	上山 良子	(ランドスケープアーキテクト/長岡造形大学長)
	大月 敏雄	(東京大学大学院 准教授)
	小川 富由	(国土交通省大臣官房審議官(建築行政))
	松谷 春敏	(国土交通省大臣官房技術審議官)
	森 まゆみ	(作家・地域誌編集者)
	森野 美徳	(都市ジャーナリスト) (五十音順/敬称略)

[発 表] 平成20年12月

[表 彰] 平成21年6月(まちづくり月間期間内)

4. 審査結果

○国土交通大臣賞(1団体)

団体名:西竹の里タウンハウス管理組合

地区名:洛西ニュータウン(京都府京都市)

○住まいのまちなみ優秀賞(1団体)

団体名:アルカディア21管理組合

地区名:アルカディア21住宅(兵庫県三田市)

○住まいのまちなみ賞(3団体)

①団体名:蒲原宿まちなみの会

地区名:蒲原(旧東海道蒲原宿)(静岡県静岡市)

②団体名:NPO法人 青山まちづくりネットワーク

地区名:グリーンヒル青山(滋賀県大津市)

③団体名:碧浜自治会

地区名:新浦安マリナイースト碧浜(千葉県浦安市)

国土交通大臣賞 地区



団体名：西竹の里タウンハウス管理組合
地区名：洛西ニュータウン（京都府京都市）

第11回 まちの活性化・都市デザイン競技

1. 主 旨

これからのまちづくりにおいては、そこに生活し活動していることの豊かさが実感でき、誇りのもてる優れた景観を備えた環境整備が重要です。現代の活動にふさわしい新たな都市景観の形成には、まちの歴史や環境に配慮しながら、その都市固有の品格を備え洗練された表現と演出が求められ、その魅力が都市に活力を呼び戻し、新たな賑わいを伴って、まち全体が活性化していくことが期待されます。こうしたまちづくりの基本的課題を踏まえ、本「まちの活性化・都市デザイン競技」は、地域にふさわしい整備構想とまちのデザインについての提案を広く一般から募り、まちづくりに対する国民の関心を高めるとともに、活力ある美しい景観を備えたまちづくりの実現に寄与することを目的に平成10年度より毎年実施しているものです。

2. 主催・後援

- (1) 主 催 : まちづくり月間実行委員会、(財)都市づくりパブリックデザインセンター
- (2) 後 援 : 国土交通省、滋賀県、彦根市

3. 事業実施経緯

- (1) 応募登録期間 : 平成20年10月1日(月)～11月7日(金)
- (2) 作品提出期間 : 平成21年2月16日(月)～2月27日(金)
- (3) 審 査 : 平成21年3月26日(木)
- (4) 表 彰 : 平成21年6月(まちづくり月間期間内)

4. 審査委員

- 委員長 : 西村幸夫(東京大学教授)
 - 委員 : 石川幹子(東京大学教授)
 - 加藤源(都市プランナー)
 - 岸井隆幸(日本大学教授)
 - 北山孝雄(総合プロデューサー)
 - 藤本昌也(建築家)
 - 森野美德(都市ジャーナリスト)
 - 松田秀夫(国土交通省都市・地域整備局市街地整備課長)
 - 田村秀夫(滋賀県土木交通部長)
 - 西川幸治(京都大学名誉教授)
 - 獅山向洋(彦根市長)
- (順不同)

5. 競技課題

課題地区は全国から公募し、滋賀県の「彦根市芹橋地区」(約14ha)を選定。当該地区において「歴史的まちなみ保全と居住環境の向上」をテーマに、歴史的な資源を活かした美しいまちなみ形成と、現代生活に対応する住みよい安全・安心のまちづくりのためのアイデアと都市デザインについて、様々な発想に基づく提案を求める(A1サイズのパネル2枚以内にまとめて提出)。

6. 応募作品数

48作品

7. 審査結果

- 国土交通大臣賞(1点)
 - 中垣淳一 他4名 (玉野総合コンサルタント(株))
- まちづくり月間実行委員会会長賞(1点)
 - 川崎泰之 他6名 (大成建設(株)設計本部)
- (財)都市づくりパブリックデザインセンター会長賞(1点)
 - 田村博美 他3名 (株オオバ大阪支店)
- 奨励賞(3点)
 - 金子祐太朗 他7名 (横浜国立大学工学部建築学科)
 - 川井操 他4名 (滋賀県立大学環境科学部環境科学研究科)
 - 平居直 他2名 (早稲田大学大学院創造理工学研究科建築学専攻)
- 彦根市長特別賞(2点)
 - 平居直 他2名 (早稲田大学大学院創造理工学研究科建築学専攻) ※奨励賞と重複受賞
 - 土屋敦夫 他2名 (滋賀県立大学人間文化学部生活デザイン学科)

